佳作

ドキドキしゅうぎょうしき

鹿児島県　鹿児島市立八幡小学校二年　上田　初音

わたしは一学きのしゅうぎょうしきで、一学きの思い出とがんばったこと、夏休みにがんばることをはっぴょうしました。

はっぴょうする人をきめるとき、やってみようとこころの中できめて、おもいっきり手をあげました。わたしと二人のお友だちが手をあげていました。先生に、

「じゃあ、はつねさんおねがいします。」

と言われて、本とうにわたしにできるかなとすこしドキドキしました。

はっぴょうするさく文は、一学きにいちばんがんばったうんどう会のかけっことクラスのかかりかつどうのことを書くことにしました。先生もいっしょに考えてくれました。

さく文ができたら、学校で先生に聞いてもらったり、おうちで、おとうさんやおかあさんに聞いてもらって、はっぴょうのれんしゅうをまい日なんかいもしました。

しゅうぎょうしきのあさは、いつもよりはりきっておきました。とうとうしゅうぎょうしきがはじまって、はっぴょうのじゅんばんがくるまで、ちょうれいだいのよこで、とてもドキドキしながらまっていました。先にはっぴょうする四年生のお友だちに、

「はっぴょうするの。」

と聞かれて、わたしは、

「そうだよ。」

と言いました。前を見るとクラスでならんでいたおにいちゃんを見つけました。「おうえんしてほしいな」と思いました。

「つぎは、上田はつねさんです。」

と、し会の先生が言いました。みんなの前に出たとき、ドキドキして体がとてもふるえてしまいました。

さく文を読みはじめると、すこし、こえがふるえていて、大きなこえがでませんでした。でも、そのまま読みつづけていると、だんだんこえが大きくなっていきました。さい後まで読みおわったとき、とてもあんしんしてにっこりしました。しゅうぎょうしきがおわった後先生が、

「はつねさん、がんばったね。」

とほめてくれました。なかよしのお友だちも、

「すごかったね。」

と言ってくれました。おうちにかえると、おかあさんに、

「はっぴょうどうだった。」

と聞かれたので、

「うまくいったよ。」

と言いました。おにいちゃん、お姉ちゃんも、

「がんばっていたよ。」

とほめてくれました。たくさんの人にほめてもらえて、とてもうれしかったです。

はっぴょうはとてもきんちょうしたけど、じしんがついたので、よかったなと思いました。また、みんなの前ではっぴょうすることがあったら、ちょうせんしたいと思います。